

同窓会関西支部総会報告

6月9日（土） 大阪第一ホテルにて第64回諏訪二葉高校同窓会関西支部総会が開催されました。

当日は7回生の3名を筆頭に26回生まで、11名の同窓生の皆様と、会長の岸、副会長の味沢、同じく武藤の3名、学校からは守屋郁男校長、都合15名で和やかな雰囲気の中、総会が開催されました。



総会は3名の物故者の方々に黙とうを捧げたあと、小坂瑞穂支部長に続き、守屋校長、岸会長の挨拶、お食事会となりました。

美味しい御料理を楽しみながら、ひとときCDから流れる110周年記念口ビーコンサートの録音に耳を傾けながら、同窓生の皆様の自己紹介、近況報告がありました。

年齢に関わらず、皆さまがそれぞれの分野で活躍なさっていることに、今更ながら同窓生として喜びと誇りを感じた事でした。中でも80代の今も現役の大学院研修生として学んでいらっしゃる方のお話には、出席者一同大いに触発された次第です。

振り返ってみれば学校を卒業してから流れた年月はなんと長いことでしょうか。

けれども同窓生が一同に会すれば、みな一足飛びに初々しかった 10 代の頃へと帰ってゆきます。そして昔話が始まるころには、次々と懐かしい同窓生の名前が挙がり、話は否が応にも盛り上がりました。

同時に、個人情報取り扱いとも絡み、転勤族の多い関西支部では、同窓生名簿の作成も難しく、連絡にも苦慮されているというお話が出ました。

年々歳々、同窓会への出席者が減っている現状は、本部、支部に共通の、また喫緊の課題であることを心したひと時でもありました。

楽しい時間が過ぎるのは早いものです。限られた時間は迫り、記念写真を撮影したあと、また来年の再会を約束しての散会となりました。

今回の支部総会開催にあたって、御尽力をいただきました小坂支部長、並びに御出席くださいました同窓生の皆様に心から感謝を申し上げます。

武藤記